

CityView!



「CityView!」では、市のイベントや地域の話、市民の皆さんにお届けします。
掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>



▲ブルーインパルスディスプレイチーム (松島基地OB会・松島基地隊員)

待望のブルーインパルス展示

道の駅東松島で始まる 全国初「常に間近で」

華麗なアクロバット飛行で見る者を魅了するブルーインパルス。その退役機の道の駅東松島での常設展示が2月27日から始まり、初日にお披露目式を行いました。ブルーインパルス展示する施設としては国内4か所目ですが、常時間近で楽しめる場としては全国初。式典で渥美市長は「道の駅の新たなシンボルとして多くの皆さんに親しんでもらい、東松島のにぎわい創出や交流人口増加につなげて



▲3月3日に来場者100万人を達成

いきたいです」と挨拶しました。また、道の駅東松島は3月3日でも来場者100万人を達成。100万人の方には、渥美市長から記念品を手渡しました。

東松島市で同日に100歳誕生日



▲後藤まさ子さん

▲佐々木ちよさん

東松島市大塩の有料老人ホーム^{あんず}杏子庵に入所する佐々木ちよさんと、同市大塚に住む後藤まささんが2月17日、ともに100歳の誕生日を迎えました。渥美市長など市の関係者が佐々木さんと後藤さんのもとをそれぞれ訪ね、祝詞を述べました。佐々木さんはうれしそうなお顔を浮かべ、「ありがとうございます」と感謝。後藤さんも「身に余る光栄。長生きはするものです」と喜んでいました。



古里の魅力を切り撮る

東松島・写真コンテスト表彰式

「市制施行20周年記念 第4回ひがしまつしま写真コンテスト」の表彰式を開き、5人の入賞者に賞状のほか、副賞として地域の特産品の詰め合わせを手渡しました。なお出品された全63作品は5月10日まで、道の駅東松島の観光案内施設で展示しています。時間は9時から17時まで。観覧は無料です。(2月25日、道の駅東松島)



8年度生産目安率
(転作率)は32.5%
東松島地域農業再生協議会臨時総会

東松島地域農業再生協議会の臨時総会が開かれ、令和8年度水田農業の取組について情報共有が行われました。農家が安心して米作りができ、消費者も購入しやすい価格となるよう、市も米の需給バランスと価格安定やほ場整備事業推進に一層取り組んでいくことを強調しました。
(2月26日、市役所)



ポータブル電源と太陽光パネル

HOPEが東松島11小中学校に寄贈

次代を担う子どもたちの防災意識醸成に役立ててもらおうと、一般社団法人東松島みらいとし機構(HOPE)から、市教育委員会にポータブル電源と太陽光パネル11セットの寄贈がありました。寄贈品は今後、市内の各小中学校に1セットずつ配置され、防災教育や有事の際に活用していきます。
(2月26日、市役所)

住み続けられ 持続発展する地域へ



フレスコ(株)が寄付金贈呈

地域密着型スーパーマーケット、フレスコキクチを展開するフレスコ(株)が、市のまち・ひと・しごと創生推進事業に対して寄付を行いました。寄付金は、住み続けられ、持続発展する地域に向けた各種取組に活用されます。寄付贈呈式では、渥美市長から菊地盛夫社長に感謝状を手渡しました。
(2月26日、市役所)



▲FREE FROG (SAKUYAさん)の朗読公演

あの日から15年 震災の記憶と教訓、 後世に

朗読劇、語り部、
コンサート、ミュージカル

東日本大震災から15年。市内でも震災の記憶や教訓を風化させないようにと、さまざまな行事が繰り返されました。市内在住のマルチアーティストSAKUYAさんは震災を振り返る朗読と音楽のオリジナル作品「逢わせ鏡一陽炎」を石巻・東松島両市で計3回公演。3月7日には市内の小中学生24人が震災の教訓を伝える語り部活動を道の駅東松島と震災復興伝承館の2か所で行いました。また3月8日には、仙台フィルハーモニー管弦楽団のバイオリン奏者ヘンリ・タタルさんと、妻のピアニスト木下順子さんによる復興コンサート「アートウェイ・デュオ」のほか、1000人以上の震災犠牲者の名前を読み上げる市民手作りのミュージカル「あなたを忘れない」などが公演されました。



▲「アートウェイ・デュオ」コンサート



▲道の駅東松島での語り部活動



▲劇団「100通りのありがとう」による公演

東松島市国際交流グループ「knot」

地域で備えるやさしい日本語×防災 学ぶ

東松島市国際交流グループ「knot」が主催する講座「地域で備えるやさしい日本語×防災」が開かれました。災害時、外国人の皆さんは情報収集の難しさや言語の壁、生活習慣や文化の違いなど日本人以上に多くの不安にさらされます。この日は、簡単で分かりやすい日本語に関する講座のほか、有事の際の防災学習なども行われ、外国人も安心して暮らせる地域づくりについて、個々が意識するべきことを学びました。
(2月28日、矢本西市民センター)

元プロ野球選手の 銀次さん、今江さん

トークショーと野球教室で交流

楽天イーグルスなどで活躍した元プロ野球選手の銀次さんと今江敏晃さんによるクロストーク（東北電力（株）主催）が開かれ、市内の野球スポーツ少年団などを含む250人の皆さんが参加しました。お二人は選手時代の裏話などをユーモラスに語りファンを楽しませたほか、後半はスポーツ少年団向けの野球教室も実施。打撃や守備のコツを伝えていました。
(2月28日、市コミュニティセンター)

実戦役立つ ボールさばき学ぶ

コバルトレ女川が指導

コバルトレ女川のサッカー教室には、竹内良主将をはじめ選手9人が参加し、地元の中学生にボールさばきのコツや加速の乗るドリブルについて指導しました。ミニゲームも行い、ふれあいながら実戦で役立つ技術を伝えていました。
(2月21日、奥松島運動公園)

笑顔で楽しむっちゃ

東松島市文化協会「新春コンサート」

東松島市文化協会による「新春文化協会コンサート～みんな笑顔で楽しむっちゃ～」が開かれ、市内を拠点とするバルバーナ・ラス・フィエスタス、子ども合唱体験教室、アロハフラスカール、ハラハラシンガーズが出演。自慢の歌やダンス、演奏を繰り広げ、会場に詰めかけた約300人の聴衆を沸かせました。
(2月15日、市コミュニティセンター)

心あったか イートころ運動

活動協力した7個人、2団体に感謝状

児童生徒の思いやりや感謝の心、愛郷心を育む「心あったかイートころ運動」の実践に積極的に協力した市民の皆さん7個人2団体に対する感謝状贈呈式を開催しました。相沢教育長は感謝を伝えながら、「イートころ運動の活動を地域により発信するためには皆さんの力が不可欠。ぜひ今後も支援をお願いします」と挨拶を述べました。
(3月2日、市役所)

里海の価値と 可能性を共有

東松島BLUELANDフォーラム

地域と産学官民が里海の価値と可能性を共有し、次世代へつなぐことを目的とした東松島BLUELANDフォーラムが開かれました。主催する東松島市BLUE LAND協議会が1年間の取組成果を発表したほか、パネルセッションや子どもたちの環境学習の発表を通じて参加者は、自然と共に生きる大切さを共有していました。
(2月21日、市コミュニティセンター)